

大分県に特化した高齢者の住まい選びの専門家。おおいた県高齢者住まい選びサポートセンターがお送りするニュースレターです。最新ニュースや老人ホーム情報をお届けします。

注目ニュース

介護報酬改定 審議報告書取りまとめへ

出典 シルバー新報 2023年12月15日号

厚生労働省は12月11日、2024年度介護報酬改定の方向性と見直し案をまとめた審議報告書案を、社会保障審議会介護給付費分科会に提示した。今回の改定で最大の論点となっているのは人材の確保であり、特にヘルパーやケアマネジャーの不足が顕著となっている。これに対する見直しとして、現行の3つの加算の各区分要件と加算率を組み合わせ、新たに4段階の「介護職員処遇改善加算」に一本化し、さらに加算額の2分の1以上を月額賃金の改善に充てる事を要件とする案が提示された。恒常的かつ実効性ある処遇改善につなぐ狙いだ。介護職と同様、人材不足が危機的状況となっている居宅介護支援に関しては、業務の効率化による人材の有効活用のための見直しを行う。ケアマネジャー1人当たりの取り扱い件数について、現行の40件未満を45件未満に引き上げるとともに、ケアプランデータ連携システムを活用して事務職員を配置した場合は50件まで逡減制の対象としないようにする。審議報告案に対しては一部反対意見もあるが、12月18日には最終的な取りまとめが行われる見通し。

介護医療院・老健施設 多床室室料負担に「断固反対」

出典 シルバー新報 2023年12月8日号

厚生労働省は12月4日の介護給付費分科会で、介護医療院について、死亡退所が多く事実上の生活の場として選択されていると指摘。在宅療養者との負担均衡の観点から、一定所得以上の多床室入所者から室料負担を求めよう提案。介護老人保健施設の療養型、その他施設についても同様の提案を行った。利用者負担第1～3段階の低所得者は補足給付により利用者負担を増加させない方針。介護医療院・老健施設の居室面積は特養より狭いことから、特養(多床室)の月1.5万円程度の負担より安く設定する方針も示した。「在宅復帰療養支援施設と明示されている老健施設の一部にも室料負担を設定する提案は大変遺憾」「基準費用額も上がり、さらに室料負担もとなると費用負担ができない人が出るのではないか」等、反対意見が強く、結論は持ち越しとなった。

今週のオススメBOOK

働きながら介護をする「ビジネスケアラー」。仕事をしながらの介護は心身の負担が大きく、仕事への影響等から介護離職を招くことも。本書では、介護はチーム戦であること、誰かに頼ることなどの心構えや、介護離職によって起こり得る生活への影響、それを防ぐためのアドバイス等が記されています。著者自身が介護で大変な経験をしてきた経緯があるため、その助言は具体的かつ的確。親の介護と向き合う時に後悔の少ない選択をしていくためにも、必読の一冊です。

ディスカヴァー携書 酒井穰＝著



☆無料貸し出ししています。ご興味のある方はサポートセンターまで。

正しい姿勢で安全に 座位姿勢保持ベルト 出典 シルバー新報 2023年1月15日号

フットマーク株式会社は、安全に車いす使用時の姿勢保持をサポートする「座位姿勢保持ベルト」を発売した。車いす利用時に正しい座位姿勢を保ち利用者・介護者の双方が安心して活動が行えることを目的に開発。股を通さず骨盤・肩・背中を固定する仕様で、猫背のような座り方や転落を予防する。多少の緩みを持たせることで締め付け感が薄く、車や飛行機のシートベルトのような装着感を目指したという。共同で開発した日本医療科学大学の萩山准教授は「車椅子の座位は固定するものではない。ベルトを装着しても適度に姿勢を変えるのが大切」と話した。



真愛サポートセンター 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。おかげ様で事業開始から今年で8年目を迎える事ができました。昨年も多くのご依頼、ご相談を頂きまして誠にありがとうございました。これからも、皆様に「真愛に相談してよかった」と言ってもらえるよう、サポートセンター相談員一同、精一杯取り組んで参ります。本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

おおいた県高齢者住まい選びサポートセンター - 0120-33-1765 月曜日～金曜日 (9:00～18:00)

社名 : 株式会社真愛
代表者 : 後藤 英治
サポートセンター : 〒870-0855
所在地 : 大分市豊饒2丁目11番11号
電話番号 : 097-579-6801
FAX番号 : 097-579-6803
ホームページ : <https://www.shinai-sc-oita.com>

